



挑戦の伴走者に、
熱意のつなぎ役に **G-net**

NPO 法人 G-net

Annual Report

年次報告書
2022-2023

ご寄付について

G-net サポーターとして、チャレンジを支えていただけますよう、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

G-net へのご寄付

● 継続寄付

- ・ G-net チャレンジサポート賛助会員
 - マンスリー会員 1,000 円～ / 月
 - 個人会員 (年間) 12,000 円 / 年
 - 法人会員 (年間) 60,000 円 / 年
- ・ ビーンズファンド 年会費会員 12,000 円 / 年
※若者たちの地域課題解決への挑戦を支援する小口ファンドです

● 単発寄付

- ・ G-net チャレンジ応援寄付 1,000 円～ / 口

つながるキャンパスへのご寄付

● 継続寄付

- ・ 寄付サポーター 1,000 円～ / 口

● 単発寄付

- ・ 高校生、大学生のキャリア教育応援寄付 ... 1,000 円～ / 口

ご支援方法

G-net へのご寄付
クレジットカード決済対応
web site 
<https://syncable.biz/associate/g-net3939>

つながるキャンパスへのご寄付
クレジットカード決済対応
web site 
<https://tsunacam-fundraise.hp.peraichi.com>

銀行振込でのご寄付
Google form 

年間一括
銀行振込
銀行名：十六銀行
支店名：柳ヶ瀬支店
口座番号：普通 1550777
口座名：トクヒ) ジーネット

挑戦の伴走者に、 熱意のつなぎ役に

代表挨拶



代表理事
南田 修司

暮らしの中で地域やキャリアに出会う、関わりの中で人と企業が学び合う。多様な世代と多様な企業を繋ぐ『地域の人事部』として挑戦を後押ししていく。

岐阜、郡上、飛騨、多治見・・・

2022年は、岐阜の各地を巡り、挑戦する皆様と共にG-netが担う役割に向き合った1年間でした。スタッフ全員で議論を重ね、ビジョンを具体化し、インターンシップやミギウデ事業などの取り組みを改めて見直し、新たな仕組みの検討を続けてきたように思います。その結果として、新たに始めた大きなチャレンジが2つあります。

- ・地域の人材課題と人を活かす企業変革に一气通貫で寄り添う「地域の人事部」
- ・地域のヒト・シゴト・企業を独自の視点で紹介するポータルサイト「東海ヒトシゴト図鑑」

これまでG-netがご縁をいただいた地域の挑戦する企業や人に、就職採用という狭義なものではなく、暮らしや日常に溶け込む形で出会える仕組みを作りたいと思い、新たな事業として動かし始めています。大事にしていることは、『G-netが何を提供するか?』ではなく、『地域と共に何に挑戦するのか?』ということです。小さなNPOひとつで出来ることは限定的です。どれだけ事例を作っても仕組みを作ってもそれだけで生み出せるインパクトは大きくありません。だからこそ、地域を担う多様なステークホルダーが連携し、共創していけるような仕組み作りがこれからは必要だと、考えるようになりました。それぞれの企業や人材が持つ強みを掛け合わせ、未来への願いを共有しながら新たな挑戦の連鎖を生み出していく。そういう一歩に、新たな取り組みが繋がっていかばと期待しています。

「人と地域の関わりが自然と生まれる生態系・文化をどうつくるのか?」

変わらずこの問いにG-netは向き合い続けていきます。今ある仕組みに囚われすぎず、地域で育つ若者たちにとって、地域で挑戦する人や企業にとって、より良い地域の在り方を模索し、次の時代に必要なモデル作りに挑んでいきたいと思っています。2022年も、多方面で支えてくださった皆様に、心より感謝を申し上げます。

G-net Mission 私たちの使命

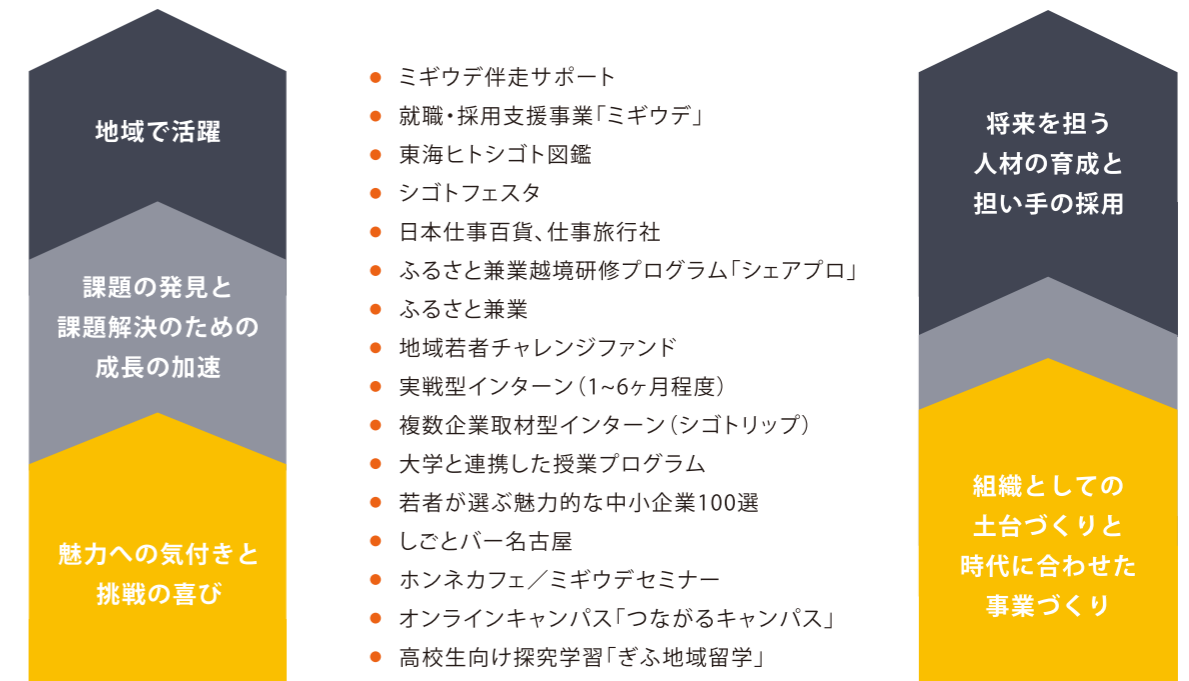
地域産業の経営革新と、担い手となる右腕人材の育成に取り組み
地域活性を支える事業を生み出し続ける

G-net Vision 私たちの目指す社会

誰もがチャレンジを保証され、支え合うことができる
そして、挑戦が評価され、連鎖する社会の実現を目指す

G-net が考える地域活性には、地域の当事者となる人材の育成と活躍するフィールドとなる産業の活性が欠かせない。しかし、ひとつひとつの成長や変化を実現させる絶対的な解はなく、時代や環境の中で常に変化を続けている。そのため、大切にしたいことは『常に挑戦的である』こと。このまちの挑戦の絶対数を増やし、挑戦の精度が高まるコミュニティを構築することで、変化や成長を実現できる地域づくりを目指していきたい。そして、地方都市岐阜から始めることで、他地域や社会全体に波及させていく。

G-net の取り組む打ち手



事業のポイント

- 1 人材が育まれる、生産性が最大化できる組織づくり
- 2 挑戦的なフィールドを開拓し、成長できる機会提供
- 3 自身の当事者へ、そして社会の当事者へと成長できるコミュニティづくり
- 4 共感を呼ぶ事例を創出し、挑戦を誘発する仕組みづくり
- 5 成果にコミットし、多様な組織と共創できるグランドデザイン

CONTENTS

代表挨拶	2	事業紹介 ● 若者向け	12
G-net Mission / Vision	3	● 企業向け	13
G-net History	4	● 社会人向け	14
2022→2023 Topics	6	Data	15
Model Case	8	Connection	16
G-net Alumni	9	Partner & Supporter	17
目指す地域の姿	10	Partner Message	18
		会計報告	19

第1フェーズ 主体者としてのG-net/期間限定団体(6ヶ月)として立ち上げ

『03』 NPO法人格を取得

『01~04』 カウントダウン



年越しイベントを開催。

『01~』 トークライブ



全国から挑戦者を岐阜に招聘。チャレンジ精神の伝播。

『02~07』 ビーンズフェスタ



挑戦する夢の豆が集まる年に1度の祭典。

『03~07』 フリーペーパー



ORGAN/Beans!の発行
チャレンジする人を取材し若者へ

第2フェーズ 伴走者としての挑戦/まちづくりからひとづくりへのシフト

実践型インターンシップ/UIターン支援事業

経産省/チャレンジコミュニティ創成事業採択 『04~06』

- 『04~』 「ホンキ系インターンシップ」事業を開始
- 『10~』 「地域協働系インターンシップ」事業を開始
- 『13~』 複数企業取材型インターンシップ「シゴトリップ」事業を開始



インターンシップフェア

10人程度から始まったフェアも100人を超えるイベントに

- 『07』 岐阜大学等授業開始
- 『08』 ノウハウ移転事業 開始
- 東紀州地域 『08~』 岡崎市 『12~』
- 『10』 地域若者チャレンジ大賞受賞
- 『13』 岐阜信用金庫/百五銀行事業提携
- 『14~』 名古屋学院大学現代社会学部連携
- 『15』 飛騨信用組合事業提携
- 『16』 中小企業経営革新賞受賞
- 『16』 名古屋商科大学連携協定締結
- 『18』 内閣府地方創生インターンシップ推進委員就任

創業支援・中間支援事業

経産省/創業支援フォーラム・創業塾開催 『06』

- 『07~09』 インキュベーションオフィス「かけたす」開所
- 『08~』 株式会社プラザー工業協賛「東海若手起業塾」を開始
- 『13~』 岡崎ビジネスサポートセンター「OKa-Biz」始動



東海若手起業塾

ボードメンバー、事務局、伴走コーディネーターを担当



OKa-Biz

創業者、秋元祥治がセンター長に就任。行列のできる経営相談所に

経済産業省「新連携」地域資源活用プログラムとの連携創出(『06~08』)経営力向上に向け理事会改組 外部理事を招いた組織運営にシフト(『09~』)東日本大震災復興支援活動(『11』)みちの復興インターンシップに参画(『12』)岐阜大学「学生ボラネット」立ち上げに参画(『12』)ゴールドマンサックス中小企業経営革新プログラム採択(『14』)

第3フェーズ 伴走からコミュニティづくりへ/地域産業の経営革新と右腕人材の育成へ

就職・採用支援事業(ミギウデ事業)

中小企業の右腕に特化した就職採用支援事業をスタート

- 『13~』 就職採用支援事業「ミギウデ」事業を開始
- 『13』 若者が選ぶ岐阜の魅力的な会社100選発行
- 『16~』 中部経済産業局「中部地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」採択



ミギウデ

- 『12』 キミはまだ99%の会社を知らないオモシロ中小企業26選発行
- 『12~』 日本仕事百貨(株式会社シゴトヒト)との連携開始
- 『12~14』 岐阜「中小企業と若者」就職白書vol1,2発行(地域の若者と企業と地域のための研究所)
- 『15』 グロービス経営大学院名古屋校と連携した社会人向けプログラムを実施
- 『15~20』 地域中小企業に特化した合説「シゴトフェスタ」を開催
- 『15~』 日本仕事百貨、大ナゴヤ大学と連携し「しごとバー名古屋」開始
- 『17~21』 一般社団法人地域・人材共創機構が事務局を務める Career for!に参画

兼業・プロボノ支援事業(ふるさと兼業)

都市部と地域を繋げる社会人向け事業をスタート

- 『15~』 副業兼業事業を試行開始
- 『18~』 副業兼業プロボノ支援事業「ふるさと兼業」を開始
- 『21』 日本の人事部「HRアワード2021」入賞
- 『21~』 法政大学大学院石山研究室と共同研究開始
- 『21~』 「プロフェッショナル人材戦略拠点」人材紹介事業者として登録。岐阜県(『21~』)愛知県(『22~』)
- 『21~』 株式会社Yogiboの「社会課題解決プロジェクト TANZAQ」採択



ふるさと兼業

- 『18~』 大手向け研修プログラム開始
- 『19』 フリーランスパートナーシップアワード2019 エージェント部門大賞受賞(掛川遥香)
- 『20~』 一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会が運営する「求人ステーション」の認定マッチング事業者として参画
- 『23~』 越境研修プログラム「シェアプロ」の全国展開を開始

地域若者応援ファンド「Beans Fund」の新設(『12~』)楽天株式会社と連携し、インターン×中小企業のネットショップ支援プログラムを実施(『15~16』)クラウドファンディングで支援を受け事務所を改装・コワーキング化(『15~』)LGBTフレンドリーな組織作りを目指し社内規定を改定(『16』)株式会社仕事旅行社との連携開始(『19~』)

第4フェーズ 地域の新たなモデル創出へ/人材と企業のトータルコーディネート

個々のサービス提供から地域企業に寄り添う一気通貫型の伴走支援サービスへ移行し、企業課題を起点とした総合的な人材支援、組織開発支援を開始。また、年齢や立場に関係なく多様な形態で地域と関わることができるプラットフォーム運営に着手。全世代対応型の人材キャリア支援を本格化。

年間伴走型企業支援事業

多様な人材活用を通じた、企業課題に寄り添う支援事業をスタート。インターンシップやミギウデ、兼業などの多様な人材活用をハイブリッドで提供する形態を本格化。

- 『19~』 就職採用支援事業とインターン事業を統合。年間を通じて個別支援する「年間伴走支援」を開始
- 『19~』 一般社団法人ONEXとの協業開始。コーディネートの仕組み化に着手
- 『19~』 一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会と提携し、兼業・プロボノ向け賠償責任保険付き福利厚生サービス「ベネフィットプラン」提供開始
- 『19~20』 インターンシップに限定しないプロジェクト型マッチングイベント「カケタス」を開催
- 『20~』 中部経済産業局の受託事業により「多様な人材活用ガイド」リーフレット(『20』、中小企業における多様な人材の活用事例集(『21』、「中部地域における中小企業のための「副業・兼業人材」活用の手引き」、「事例集~多様な人材 共に目指す企業の成長~」(『22』)を制作
- 『20~』 年間伴走型の企業支援において、社員育成や評価基準の導入などを実施。伴走領域の拡大
- 『21』 関東経済産業局「中小企業等に対する外部人材確保支援等事業 兼業・副業人材活用検討会議」第2,3回、東北経済産業局「東北地域における外部人材活用に向けた検討会」にそれぞれ委員として参加
- 『21~』 関係人口マッチング後の定着を支援する「関係人口定着支援プログラム」と「関係人口コーディネーター養成プログラム」の提供開始
- 『22~』 「地域の人事部」事業を開始
- 『22~』 共に挑戦したくなる中小企業ポータルサイト「東海ヒトシゴト図鑑」Webをリリース
- 『22』 フリーランスパートナーシップアワード2022 審査員特別賞を受賞(太美工芸株式会社様)
- 『22~』 地域人事部アライアンスネットワークに参加



立場や年齢を超えたキャリア自律支援事業

高校生、大学生、社会人などの年齢における棲み分け、地域内、地域外などの拠点における棲み分けなど、これまで当たり前に区別して取り組んでいた事業を統合。年齢や立場、居住地や環境に左右されず、地域に関わることができる全世代型キャリア自律支援の取り組みへ。

- 『19~21』 一般社団法人地域・人材共創機構が発行するローカルキャリア白書vol1,2,3にCareer for参画団体として協力
- 『20~』 高校生向けローカルリーダー育成プログラム「ぎふ地域留学」開始
- 『20~』 インターンシップとふるさと兼業のノウハウを活かし、大学生の新たな働き方モデル「学生兼業」を試行開始
- 『20~』 コロナ禍の影響を受ける若者を支援するオンライン上の仮想キャンパス「つながるキャンパス」開校
- 『20~』 ミギウデ事業を通じて支援してきた人材のコミュニティ「ミギウデたちのslack」を立ち上げ
- 『20~』 Co-Innovation University(仮称)の立ち上げ事務局への参画開始
- 『20~』 名古屋産業大学と地域活性化に向けた協働教育の推進に関する協定締結
- 『20~』 コロナ禍における学生・若手社会人の経済的支援「キャッシュフォローワーク」学生兼業を開始
- 『21~』 つながるキャンパス内で社会連携ゼミを開始
- 『22~』 岐阜県立加納高等学校の探求学習授業の支援を実施
- 『22~』 岐阜大学 社会システム経営学環と連携を開始



TOPIC 1 企業が共に学び合うコミュニティ「東海ヒトシゴト図鑑」



地域で挑戦する企業や人、魅力的なシゴトを紹介するポータルサイト「東海ヒトシゴト図鑑」をオープンしました。インターンシップやふるさと兼業など多様な取り組みでご縁をいただいた企業と連携し、共に学び合いながら地域全体の仕事の面白さを発信し、若者との新たな交流を生み出していきます。岐阜大学社会システム経営学環との連携による取材プロジェクトや、協働企業同士が「人材育成」や「地域の生態系」などテーマを持ち寄りながら共に学び合う小規模勉強会などを企画し、若者と企業が育ちあうコミュニティ作りがここから加速していきます。東海ヒトシゴト図鑑を通じて、若者と地域企業が出会い、様々な挑戦が生まれてくることで、地域と人が繋がる生態系を形にしていきたいです。

TOPIC 2 企業ニーズにあわせた越境研修プログラムの開発と全国展開



越境学習をベースとしたふるさと兼業越境研修プログラム「シェアプロ」の取り組みが広がっています。

大手企業社員が、地域中小企業・団体の事業推進・経営革新プロジェクトに期間限定で取り組む「実践型」プログラム(2015年開始)に加え、越境学習を通じて地域を体感し内省を深める「フィールドワーク型」プログラムも、NPO法人ORGANやNPO法人クロスフィールズの方々と連携し、共にプログラム開発や実施を重ねています。

より多くの企業の人材育成に関するニーズや期待に応え、社会全体の人材育成を後押ししていけるよう、これまで東海圏を中心に行っていたプログラムを全国11地域へと広げ、ふるさと兼業越境研修プログラム「シェアプロ」として23年4月にリリース。23年度は全国で「地域×大手」の取り組みを展開していきます。

また、法政大学大学院石山研究室と協働し、外部人材の受入側である地域企業に焦点をあて、外部人材の活用に伴う組織の変容に着目した研究に取り組み、論文としてまとめていただきました。この研究をもとに、「シェアプロ」を通じて、地域企業・大手企業双方にとってよりWIN-WINとなる研修プログラムの開発と拡大を進めてまいります。

TOPIC 3 岐阜を見つめ直す1年をきっかけに、新たな連携が加速



2022年は、1年を通じて岐阜を見つめ直す年になりました。各地の地域に密着した団体と連携し、県内各地をスタッフ全員で視察し、今の「岐阜」に出会い、G-netとして何が出来るのか?を考える機会を得たことが、地域の人事部構想や東海ヒトシゴト図鑑など新たな事業へと繋がっています。また、NPO法人ORGANとの越境研修における協働など、視察研修をきっかけに、地域に根づくプレイヤーとの新たな連携が生まれました。G-netだけでなく、地域の多様なプレイヤーと連携することで、地域全体のインパクトを目指す。そのような体制作りが進んできています。

TOPIC 4 点から面へ、個社での採用力向上からエリアでの採用力向上に



ミギウデ事業を軸に、地域企業の魅力的な組織や仕事作りを支え、意欲ある若者とのマッチングを長年支援する中で、100人を超える若者が地域に飛び込み、活躍しています。一方で、地域全体で見るとまだまだ人材課題は厳しく、また、意欲ある若者たちの定着や魅力的な地域でのキャリアパスを描き切れていない課題も浮き彫りになってきました。

そうした課題に直面する中で、より好循環の人材還流を生み出し、地域全体で企業が学び合い、若者のキャリアや挑戦を支援できる仕組みをつくるべく「地域の人材部」をコンセプトに取組みを開始しました。

『あの地域へ行くと面白い企業が集まっているらしい』『あの地域コミュニティには30代のロールモデルがたくさんいるらしい』そんなエリアをこの東海地域に輩出していきたいと考えています。個社毎に点で人材課題に向き合うのではなく、地域という面となって共通のコンセプトで人材課題に向き合い、若者のキャリア自律を目指すコミュニティ創出を目指していきます。

TOPIC 5 ホンキ系インターン卒業生が、時を経てG-netの仲間になる



ホンキ系インターンシップの卒業生が、10年以上の時を経てG-netの新たな仲間として関わり始めています。

東海ヒトシゴト図鑑の情報をきっかけに、ホンキ系16期生の堀米さんは転職タイミングの社会人版ホンキ系インターンシップとして、10期から複数回に渡って挑戦していた谷さんは育休中の副業機会として、それぞれの状況にあわせた多様な関わり方で参画してくれました。

こうして再びG-netの取り組みに共感し関わってくれたことは、私たちが考える地域の生態系から生み出したいモデルの一つでもあります。学生時代に生まれた縁がゆるやかに繋がり、社会人になってからもまた関わりたいと思える場所であり続けようと思っています。

G-net 2023年度の重点的取り組み

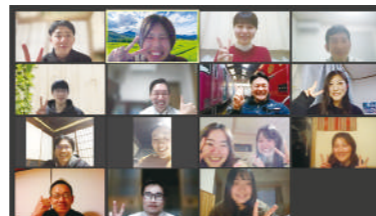
- ① 多様なステークホルダーと連携した、地域の人材部の本格的立ち上げ
- ② 全国各地と連携したふるさと兼業越境研修の事業化
- ③ 東海ヒトシゴト図鑑を軸とした、教育機関との連携

人と地域の人材還流の生態系づくりをさらに推進していきます

MODEL 1 白川町プロジェクト

町の人事部として
多角的かつ段階的に企業と若者を支援

運営する若者コミュニティには、約20名が加入、
町内で4名の採用(内1名24卒入社予定)に繋げた



'20~'22 取り組みと成果

町内企業の1dayオンライン
インターンシップ、中学・高校
の職業体験窓口を設置。学生
との接点づくり、認知拡大。

人が集まる企業づくりワー
クショップを実施。経営者に加
え社員を巻き込み、当事者意
識を持った人材育成を促進。

オンラインコミュニティの創
出と運営。参加者の半数が来
町し、町民との交流機会が生
まれた。

G-netによる町の人事部的なサポートにより、若者の流出防止と新たな人材の確保に確かな手ごたえを感じています。企業ワークショップやインターンシップ、オンラインコミュニティ運営など新しい手法で仕事とまちづくりの学びと交流が活発化していて、町内外へ取り組みの認識も増え、雇用と関係人口の獲得にも成功しています。今後も地域の活動や熱意が集まるプラットフォームとなる可能性に期待しています。

第1回からこの事業に参加し大きな満足感を得ています。それは学生さんが何を考え企業を選ぶのか、生の声を聴くことが出来たことであり、そこに至るまでに、採用したい人物像を明確にすることを考えたこと。自社のPR動画作成やZOOMを通じた企業見学など、自社として準備し挑戦し修正するトライ&エラーの仕組みがあったことが、より高い満足感に繋がった素晴らしい事業だと言えます。

白川町役場企画課
鈴木元秀 氏



大協建設株式会社
代表取締役 大脇健太郎 氏



MODEL 2 昭和技研株式会社

研修やワークショップ、対話など
多様な育成プログラムを通じて
社員の自己実現をサポートする段階的な組織開発伴走



'19~'22 取り組みと成果

「年間伴走」を活用し主に組
織開発に関して定期的にコー
ディネーターと議論を進め、
組織の目標と打ち手を整理。

半年に一度の頻度で幹部向け
ワークショップ・インタビュー
を実施。社員同士のコミュニ
ケーションが円滑に。

幹部とコーディネーターの定
期1on1、ふるさと兼業を通し
た社外人材との交流により社
員の思考・行動が変化。

この3年間の活動は、想定以上に効果があったと感じております。通常の研修では、理解度が把握しきれないことが多いですが、理解してもらいたい内容を事前に検討した上、インタビューを通して個人ごとにどの程度浸透したのか、行動に反映されたのかも確認することができました。共通言語が増えることで、幹部同士の一体感も増したと感じております。

これまで、社内での研修やミーティングではまじめな感じになり思考も硬直気味でした。この3年、G-netのコーディネートの下、社内での会を重ねた所、率直に発言することにも慣れ、新たな側面が引き出される様にもなってきました。結果、社内のコミュニケーションが円滑になり結束力も高まっています。また、社外の人と交流する機会が増えたことで1つの物事に対する捉え方が多面的になり、行動に幅が出来ました。

昭和技研株式会社
代表取締役 田中禎一 氏



昭和技研株式会社
取締役 岡崎基史 氏



MODEL 1

伊藤早紀 さん

株式会社Parasol代表取締役社長



G-net との縁を一言で

「やらない理由よりやれる方法を考える」
挑戦マインドを持つ仲間との出会い

profile

1990年愛知県生まれ。リクルートコミュニケーションズを経てParasolに入社。マッチングアプリメディアを立ち上げマッチングアプリ専門家としてTVなどに出演しながら婚活サービスヒトオシを展開し、2022年同社の代表取締役に就任。

G-net 南田より

学生時代にホンキ系インターンシップに挑戦してから、気が付けば10年以上が経過しました。一生懸命に悩みながらチャレンジしていた伊藤さん、今ではメディアで見かけることも増え、人の未来に寄り添う起業家として活躍の幅を広げています。フィールドが違っても、人に向き合う仲間がいることが、とっても嬉しいです。

MODEL 2

牧野由季 さん

蕎麦屋 久良三 若大将



G-net との縁を一言で

自分の夢への第一歩を
踏み出した場所

profile

1994年生まれ春日井市出身。愛知県立大学英米学科在学中にG-netインターンを丸八テント商会にて経験。主に中国やインド出張など海外とのやりとりを任される。そのまま同社へ就職。その後東京の蕎麦店での修行を経て、現在は実家の蕎麦屋で三代目若大将として創業100年に向けて奮闘中。

G-net 浅野より

当時の丸八テント商会にとって大きな挑戦だったインドでの事業進出を、持ち前の行動力と英語力で前進させた立役者の一人です。インド出張を始め、インドなまりに合わせた英語で現地スタッフとの会議進行など、学生チームと共に試行錯誤していたことは記憶に新しいです。現在は、学生時代より語っていた父の店を継ぐために、3代目「若」として「久良三」の厨房で修行中とのこと。「若の蕎麦」絶品です、ぜひご賞味あれ!

MODEL 3

白井恵奈 さん

NPO法人G-net スタッフ / 合同会社ペテトテ代表



G-net との縁を一言で

小さなチャレンジから始まり、
どんどん関わりしろが
広がっています!

profile

1990年生まれ。新卒から自動車部品メーカーにてデザイン・開発業務に従事。2019年にふるさと兼業と出会って以降、飛驒のコシヒカリ販路拡大プロジェクト、つながるキャンパス運営委員会での兼業を経て、G-netへ入社。G-netの業務と並行でペットの飼い主をサポートする事業を立ち上げるため「合同会社ペテトテ」を設立。

G-net 木村より

ペテトテ代表、ママ、つながるキャンパスの中核人材、G-netの攻めるバックオフィス、と四足の草鞋(それ以上かもれません)でキャリアを突き進む白井さん。一緒に働く仲間としてはその力強さと柔らかさにいつも助けられ、人としては、やりたいことは全部やる!という姿を尊敬しています。隣で仕事ができることを幸せに思います。

G-netが目指す、 地域に人が集まる人材還流の生態系・文化の創出

G-netの全ての打ち手は「自分たち地域がまず変わること」をいつも中心においています。若者たちが地域に出会い、価値を見出し、そして、未来の当事者となっていく。また、地域や企業そのものが若者たちにとって、魅力的な存在に変化していく。そんなお互いの変化の先に、「人が集まる地域」がつけられていくと考えています。

Pick Up!

東海ヒトシゴト図鑑

若者たちが共に挑戦したくなる地域企業と出会うプラットフォーム

2022年にWEBを公開しました!



学生×企業50名参加!
掲載企業の商品を囲む交流会



企業のコミュニティ化を図る企業勉強会や、学生とのリアルな交流会を定期的に行いました。

51社
掲載

企業図鑑(※~2023年9月)

Pick Up!



変える 育む 活かす
地域の人事部

多様なセクターと協働し、相互作用し合うコミュニティを活用した横断的な企業支援



経産省補助事業で
西尾市・豊田市と
「地域の人事部」事業を
実施しました。



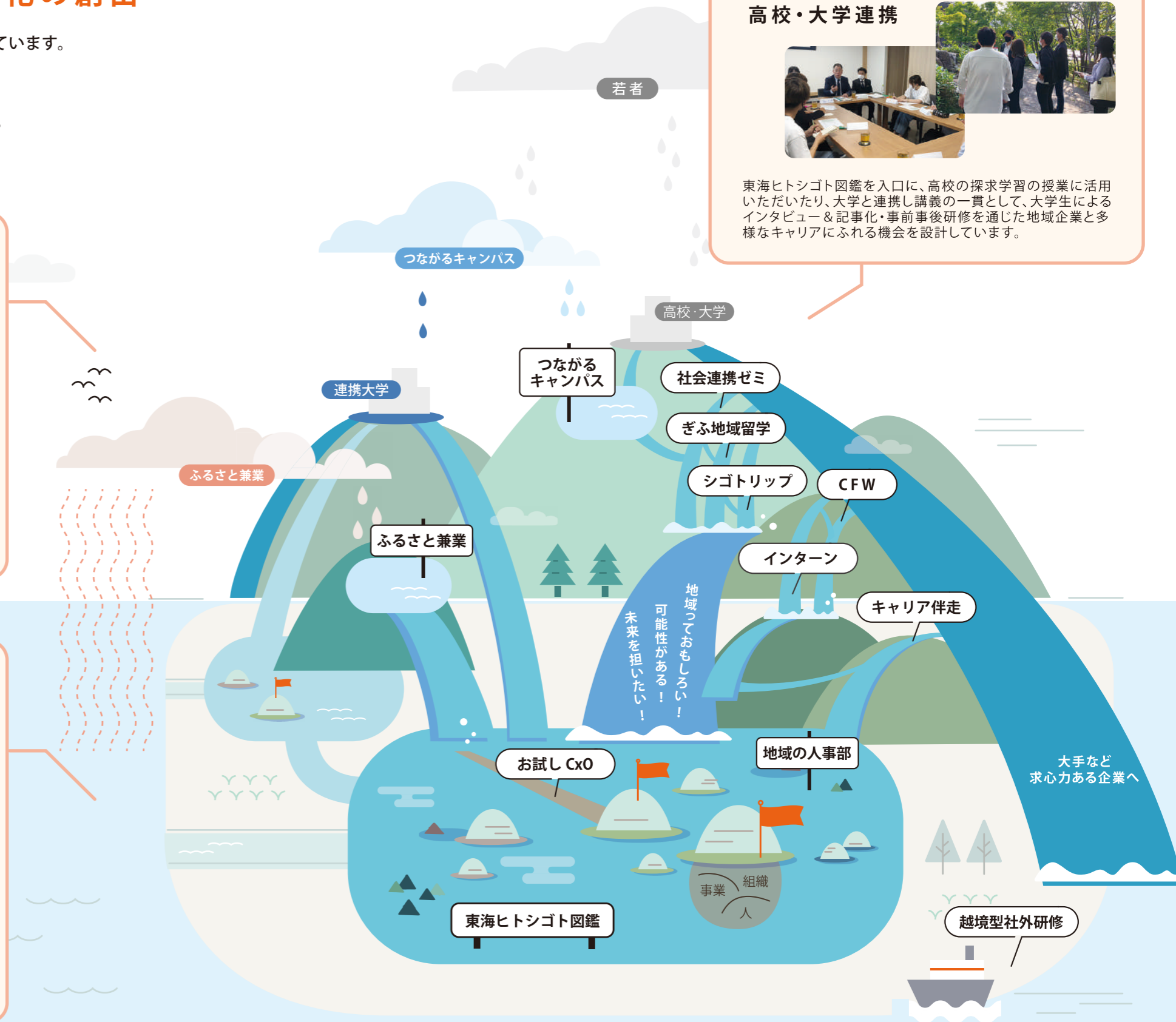
白川町プロジェクトを始め、岩倉市や東栄町など複数の自治体と地域が一丸となって支える人事機能の構築に向けた動きが拡大しつつあります。

Pick Up!

高校・大学連携



東海ヒトシゴト図鑑を入口に、高校の探求学習の授業に活用いただいたり、大学と連携し講義の一貫として、大学生によるインタビュー&記事化・事前事後研修を通じた地域企業と多様なキャリアにふれる機会を設計しています。



【G-netの役割】

地域に根付く

多様な人材と地域をつなぎ、目の前の1社、1人に向き合い、産業支援と担い手育成に取り組む

地域をつなぐ

人を軸に、大学や企業、自治体などをつなぎ、人と地域の「人材還流の生態系・文化」をつくる

地域をまたぐ

知見やノウハウを積極的に発信し、政策支援、他地域との連携に取り組むことで、日本全体の生態系づくりに貢献する

ベンチャー企業・公務員 など

大手企業 など

若者と地域の段階的な接点を通じた キャリア自律と担い手としての成長ステップ

G-netは、地域と若者の多様な接点創出を通じて、地域の当事者として次世代を支える人材育成に取り組んでいます。多様な出会いで若者達の興味関心を醸成し、踏み込む挑戦機会が課題やビジョンに対するオーナーシップを育みます。

役割 出会いと関わりシロを提供し、若者の変化と成長に伴走します

つながるキャンパス／高校大学連携

世代や距離を超えたつながりを生み出すオンライン上のキャンパスを通して、多様なキャリアモデルと交流、学び合う機会を提供しています。「(仮称)Co-Innovation University」開学に向けた実践型カリキュラムづくりや高校生の探求学習の授業連携、大学のキャリアプログラムでの連携にも着手しています。

- '22 action (22) WEBをリニューアル!
- (22) リアル交流の場としてつなキャン食堂、未来会議を開催

社会連携ゼミ／地域留学

地域や社会の中で取り組まれているリアルな挑戦をテーマに、オーナーと学生が共に学ぶゼミ形式のプログラムです。

- '22 action (22) 前後期で計30ゼミを開催、計55名が参加
- (22) 対面でのゼミ合宿や企業訪問、フィールドワークを実施



伴走型キャリアサポート

コーディネーターが長期間にわたり1対1の面談を通して伴走します。キャリア観・仕事観を磨きながら若者自身が当事者意識を持ち、自律的に選択できる人材への成長をサポートします。

- '22 action (22) 年間150名以上の大学生・高校生へキャリア面談実施
- (22) 社会人サポーターに気軽に相談できるコンシェルジュ制度を導入

シゴトリップ
1日単位から地域に出会える、経営者・社員インタビュー＆現場見学のインターンシップです。

- '22 action (22) 全国版シゴトリップをのべ8地域と協働展開

ホンキ系／有給長期実践プログラム

2ヶ月以上の長期間、地域企業の経営者の元で挑戦する実践型インターンシップです。コロナ禍では、経済的支援が必要な若者が給与を得ながらリモートで実践できる「キャッシュフォーワーク(CFW)」プログラムを実施しました。

- '22 action (22) 名古屋学院大学と連携し、実践型インターンシップを5社6名実施

選択肢となる企業と出会う

東海ヒトシゴト図鑑／ふるさと兼業

地域企業の経営者や企業が挑戦していることなど、企業・シゴト・ヒトそれぞれに焦点を当てた深みある企業情報と合わせて、インターンシップを始め兼業副業、就職までの多様な関わりを提示しています。

- '22 action (22) 岐阜大学社会システム経営学環と連携し、1年生31名が16社へ取材訪問したインタビュー記事をWEBに掲載
- (22) G-netプログラム参加経験者(地域に関わりたい潜在層)への新たなアプローチとなり、社会人インターン生・兼業者としてマッチング

変化・成長により

地域への当事者性が磨かれる

「地域」でのキャリアが選択肢のひとつになる

自律したキャリア選択ができる人材／地域の未来を担う人材へ

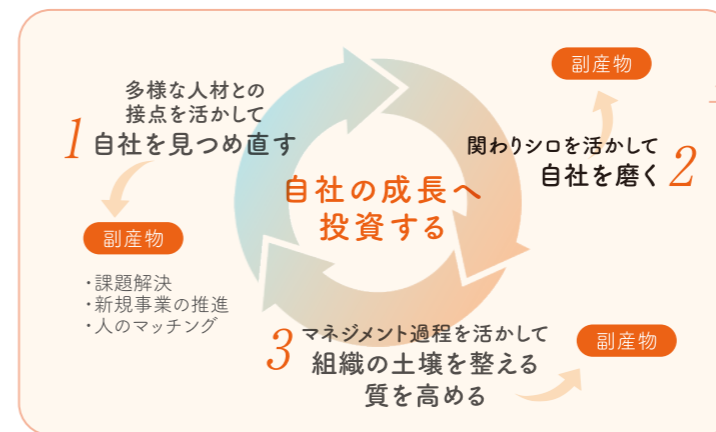
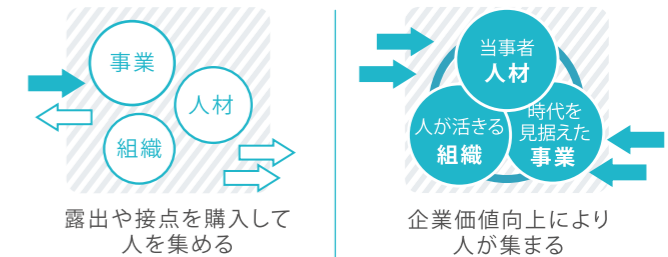
人が集まる魅力的な企業へ 変革をサポートする、長期的な伴走支援

G-netは、人と地域との接点、関わりシロのコーディネートを通じた「人が集まる地域・企業」づくりに取り組んでいます。多様な人材との共創機会が、地域の課題の可視化や挑戦の推進に繋がり、結果として地域や企業そのものの変革を推進します。長期的な視野をもって伴走を続け、企業と人の好循環を生み出していきます。

目指す姿

消費する人材戦略から 投資する人材戦略へ

企業自身の成長を軸に魅力的な企業への変革を促し、人が集まる状態を生み出す人材戦略を目指します。多様な人を惹きつける挑戦性と人を活かす柔軟性を備えた、選ばれる企業づくりが大切だと考えています。



役割①

刹那的なマッチング支援でなく 長期的な企業変容(成長)支援

社員をはじめとした多様な人材の力を引き出し、活かせる組織への変容と、魅力的な事業創出に取り組む企業への変容が、人材からの求心力・ブランド力を高めるサイクルを生み出します。企業のフェーズに寄り添った段階的な変容をサポートします。

役割②

多種多様な機関との協働と 企業コミュニティによる 新しい地域支援の形「地域の人事部」

1社1社独自に行う採用活動から、企業同士が協働して人材を募集し育成する構想を掲げ、多様なセクターと連携し横断的な支援を目的としています。

- '22 action (22) より適材適所で、多くの人材や企業支援をおこなえる体制として、「ミギウデパートナーズ」の構想を整理
- (22) 自治体や金融機関のキープレイヤーとの提携
- (22) 企業団体や金融機関などと連携し、地域特化の人事部モデル・地域人事部ネットワークづくりを実施



人材を活かせる組織へ変化し、人材が活きる挑戦フィールドとして求心力が高まっていくことで
挑戦意欲のある新たな人材を引き寄せる

誰もが地域への関わり方を 選択できる仕組み・環境づくり

G-netは、様々な事情で地域を離れていても、地域に関わり続ける仕組みづくりを進めています。
本業や居住地など置かれた状況に左右されず、意欲次第で挑戦できる環境を整えることで、地域への人材還流を促進します。

本業に
還元しながら
関われる

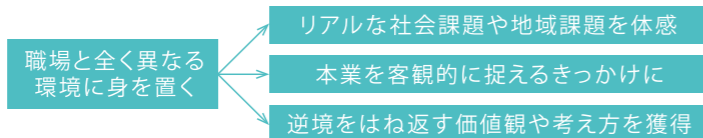
居住地に
とらわれず
関われる

ライフ
ステージに
とらわれず
関われる

障がい・病気
などに
とらわれず
関われる

大手連携・越境型研修 参加者・受入企業双方の成長機会

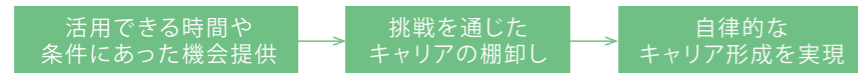
地域課題をフィールドに、本業では経験できない実践機会に飛び込む越境型学習プログラム
ふるさと兼業越境研修プログラム「シェアプロ」は、ふるさと兼業のコーディネートノウハウを活かし、越境学習をベースとした社外研修プログラムです。地域課題解決や地域創生の現場にチームを組んで越境し、新たなイノベーション創出に取り組むことで、社員の成長と地域課題の解決を両立することができます。企業の課題や状況にあわせてよりニーズにあった提案ができるよう、新たにフィールドワーク型プログラムを開発したり、全国エリアの展開を開始しました。



『22』 ふるさと兼業越境研修プログラム「シェアプロ」の全国展開を開始 *22 action*

ふるさと兼業 隙間時間を活用した挑戦機会

愛する地域や共感する事業に、プロジェクト単位でコミットできる副業兼業プラットフォーム
地元に関わりたい、自分の隙間時間を使って関心がある企業や事業、地域に関わりたい、自身の成長やキャリア自律に取り組みたいと熱量や思いを持っている方たちへ、副業や兼業という新しい働き方をコーディネートしています。コーディネーターが伴走することでミスマッチを減らし、プロジェクトの推進をサポートします。働くことに対する価値観も大きく変化する中で、個人の希望や条件にあった新しい働き方の選択肢を増やし、誰もが挑戦できる仕組みを整えていきます。



『22』 社会課題を解決したいソーシャルビジネス団体へ支援プログラムを開始 *22 action*

お試し事業継承・CxO グラデーションで仕事に関わる

週1日から経営幹部にもなれる。
0か100かの就業移行から、グラデーションあるキャリアチェンジへ

事業承継や新しく経営幹部を迎えることを考える経営者と、挑戦意欲ある候補者が、一定期間共に事業運営に取り組むことで、効果的かつミスマッチのないマッチングをサポートします。段階的な所属の仕方や責任の移行をサポートすることで、ライトな副業とも転職とも異なる、グラデーションがある新しい関わり方を可能にすると同時に、地域との多様な関わり方を増やしていく一つの手段になると考えています。

『22』 お試しCxOプログラムで4社10名がマッチング *22 action*

数字で見る2022

2022年度も、多様なヒトがさまざまな方法で地域の挑戦に出会い、関わり、共に実践しました。
ここでは具体的なデータをご紹介します。

若者キャリア支援

コロナ禍の若者支援

つながるキャンパス

プログラム実施 **63** 回
参加者 のべ **440** 名

登録者 **1,130** 名
※2020～2022年度累計slack登録者

有休型長期実践型プログラム

プロジェクト **16** 件
プログラム参加者 **26** 名

連携大学

授業実施 **12** 大学

インターンシップ

シゴトリップ

参加者 のべ **418** 名

累計参加者 **11** 社 のべ **1,429** 名
※2013～2022年度
2022年度 **14** 社 のべ **320** 名
※2022年度累計
東海 全国版

実践型インターンシップ

参加学生 **880** 名
※2004～2022年度累計

高校生向けプログラム

探求学習 **1** 校 / 加納高校
ぎふ地域留学 参加者 **17** 名
累計参加者 **125** 名
※2020～2022年度

地域企業支援

伴走企業

伴走プロジェクト **104** 社
(各行政事業や年間伴走など)

就職採用支援
のべ **117** 名 定着率 **74** %
※2015～2022年度累計 ※入社より3年以内
※現在活動休止中

東海ヒトシゴト図鑑

企業図鑑 **37** 社掲載
シゴト図鑑 **15** 社掲載

ふるさと兼業

登録者 **7,794** 名
※2018～2022年度累計

マッチング **289** 名 掲載プロジェクト **142** 件

越境研修プログラム「シェアプロ」(実践型) 実施数 **15** プロジェクト
参加者 **46** 名

地域パートナー **27** 団体
連携自治体・団体 **12** 件

※但し書きのないものは全て22年度(2022年6月～2023年5月)の数値となります。

地域とつながる、多様な人と出会う

全国の若者が集まり、多様な関わり方や様々な地域プログラムを選べるオンラインキャンパスから、東海エリアの魅力的な人や企業に特化したサイト、全国の地域企業の副業兼業プロボノプロジェクトのマッチングサイトなど、地域とつながる多様な機会を提供しています。

- つながるキャンパス
- 東海ヒトシゴト図鑑
- ふるさと兼業
- シゴトリップ



プロジェクトに参画する

大学生も社会人の方も、インターンや兼業・プロボノ、就職などグラデーションがある関わり方で地域企業のプロジェクトに参画できる機会を提供しています。

- ふるさと兼業
- 東海ヒトシゴト図鑑
- ホンキ系インターンシップ



伴走型キャリアコンサルティング

コーディネーターと1対1で、キャリアに関する相談ができます(無料・随時受け付け中)。キャリアコンサルタント資格保有者も在籍。今・これからの時代に必要なキャリア観を捉えつつ、納得感あるキャリア形成をサポートします。

- つなキャリア1on1
- 就活伴走



経営者または後継者への伴走コンサルティング「年間伴走」 地域企業間のコミュニティづくりの支援

3~5年後の事業計画や現状の課題の整理、長期的に見た採用戦略などについて、経営者の皆さまの相談相手となりながら、多様な人材活用を含めた解決に向けて打ち手の洗い出し、現場への落とし込みをサポートします。また、地域の経営者の皆さまと定期的に勉強会などの機会を設け、共に学び育ちあう地域企業間のコミュニティをつくっています。



1社1社カスタマイズしたプロジェクト設計



単なる紹介でない
ミスマッチを防ぐマッチング



ゴールまで
企業と人材双方への伴走



事業開発に共に取り組む

- 商品・サービスの販路拡大や開発
- 新規事業の立ち上げ(小さなトライ&エラー) など

組織開発/人材育成に共に取り組む

- 幹部候補・ミギウデ人材の採用
- 社員の育成やモチベーションアップ など

地域企業の多様な人材活用推進、地域の関係人口創出

地域産業の課題解決や地域の関係人口創出を、ふるさと兼業やコーディネートノウハウを活用して支援しています。自治体のオープンイノベーションの推進や、地域課題の解決など、様々な事業づくりをサポートします。

地域の人事部立ち上げ・運営支援

個社支援だけでなく、地域企業を面で支える人事部機能の立ち上げを支援しています。フルタイム採用だけでなく多様な人材活用、人材への啓発から育成、定着まで一気通貫でサポートできる支援体制を地域に構築しています。

ふるさと兼業越境研修プログラム「シェアプロ」

大手企業×地域企業による課題解決実践を通じた人材育成

「ふるさと兼業」の仕組みをベースとした、越境学習型の研修プログラムを企画しています。地域企業やNPO団体など、地域課題、社会課題の解決に挑戦するフィールドへの参画を通じた研修機会を提供します。

ソーシャルスポンサードプログラム

広告出稿による社会課題解決支援プログラムを、ふるさと兼業の仕組みを活用して運営しています。財政基盤の安定しないソーシャルビジネス領域に、意欲ある人材のマッチング機会を大手企業と連携して提供しています。

連携機関のご紹介

連携企業・団体

- 愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点(登録事業者)
- NPO法人ORGAN
- 株式会社ガクトラボ
- カンダまちおこし株式会社
- 岐阜県プロフェッショナル人材戦略拠点(登録事業者)
- 求人ステーション(認定事業者)
- NPO法人クロスフィールズ
- NPO法人コラボキャンパス三河
- 株式会社シゴトヒト(日本仕事百貨)
- 株式会社仕事旅行社
- NPO法人新公益連盟
- NPO法人大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク(大ナゴヤ大学)
- 一般社団法人地域・人材共創機構
- 地域人事部アライアンスネットワーク
- 一般社団法人地域問題研究所
- チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト
- 認定NPO法人D×P
- 一般社団法人東海若手起業塾実行委員会
- トヨタ自動車株式会社 翔の会・幹の会
- 公益財団法人日本財団
- 株式会社人と土
- 一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会
- 株式会社まんまる笑店
- 株式会社Yogibo
- 一般財団法人リープ共創基金

金融機関

- 岐阜信用金庫
- 西尾信用金庫
- 飛騨信用組合
- 百五銀行

大学・教育機関

- 岐阜県立加納高等学校
- 岐阜大学 社会システム経営学環
(仮称) Co-Innovation University
- 名古屋学院大学
- 名古屋産業大学
- 名古屋商科大学
- 法政大学大学院石山研究室
- 名城大学 社会連携センター-PLAT

行政・自治体

- 岩倉市役所
- 白川町役場
- 中部経済産業局
- 公益財団法人東京観光財団
- 豊田市役所
- 名古屋市役所
- 西尾市役所
- 飛騨市役所

(50音順)

ふるさと兼業地域パートナー

- NPO法人北海道エンブリッジ
- NPO法人プラットフォームあおもり
- 株式会社バリューシフト
- Next Commons Lab弘前
- 株式会社パソナ東北創生
- 一般社団法人ワカツク
- 一般社団法人ONE X
- きら星株式会社
- 株式会社御蔵川
- 株式会社akeru
- NPO法人ETIC.
- 六月の村ソーシャルワーカーズ株式会社
- NPO法人ESUNE
- 一般社団法人移住者人材バンク
- 一般社団法人わくわくスイッチ
- 株式会社Dream3.0
- 株式会社いろあわせ
- 株式会社ローカルフラッグ
- NPO法人JAE
- NPO法人bankup
- NPOエリア・イノベーション
- 株式会社アルファドライブ高知
- 4TuneShape株式会社
- 株式会社日添
- 株式会社SMO南小国
- 株式会社マチトピラ
- 琉球ミライ株式会社

(都道府県コード順)

Partner Message

蒲 勇介 氏 特定非営利活動法人ORGAN 理事長



かつて、NPO法人G-net創業時に副代表理事に就いていました。NPO法人法が成立したばかり、地方創生なんていう言葉も無い時代に、柳ヶ瀬商店街に若者が集まり、衰退する地域をどうすればいいのか、模索しながら不器用に走っていました。そこから20年、G-netが産み出し繋いだ人材は各地に散りながらそれぞれのフィールドでチャレンジを続けています。自分もその一人です。人の可能性が育つ苗床としてG-netは今も、自ら有機的に変わりながら次の時代のタネを育む仕組み作りを続けています。私は岐阜県長良川ならではの伝統文化の継承に取り組む中で、伝統の継承の本質は、この「自ら有機的に変わりながら」進んでいくことだと確信しています。今後も、変化を恐れず未来に立ち向かえる地域と人材を、G-netと共に育てていきたいと思っています。

浅井 敬一郎 氏 愛知淑徳大学 ビジネス学部 教授



私とG-netとの出会いは2011年。南田代表理事と出会い、その生き方、考え方を学生に伝えたいと想い、本学で講義をしていただきました。それをきっかけに、1,2年生はシゴトリップに、3年生はホンキ系インターンシップに参加するようになり、問題にぶつかり壁を乗り越えることによって成長していく姿を目の当たりにしてきました。いま、私が抱えている問題は1,2年生のキャリア教育をどうするかです。3年生の春には早期選考の夏季インターンシップに向け、エントリーシート作成、筆記試験をいきなり受ける学生が大半です。3年生になる前に、働くとは何か、シゴトとは何かに触れるリアルな機会があることを学生に知らせることが引き続き私の課題です。G-netの貴重な取り組みを今後も継続、発展していただければと考えております。

原田 悠子 氏 特定非営利活動法人クロスフィールズ ディレクター



G-netさんとは2022年からフィールドスタディをはじめとするプログラムで本格的に協業をスタートさせていただきました。「岐阜には何も無い」と言われるけれど、面白い人や組織がたくさんいる」という言葉の通り、プログラムを通じて魅力的な方々とたくさんのお会いがあり、熱い想いを持って挑戦し続けている彼らの姿を鏡に、自身の志を問いただすプログラム参加者が多くいます。G-netさんは参加者と現地の方々をつなげるだけでなく、参加者がさらに行動を加速していくための応援者としても大切な存在です。まちと人に真摯に向き合って伴走するG-netさんの姿から、私たちも多くを学ばせていただいています。これからもG-netさんと「人と人をつなげる仕掛け」を作っていきたいです。

佐伯 正貴 氏 岐阜県白川町 町長



白川町は、面積238km²、そのうち山林が9割近くを占める典型的な中山間地域です。白川茶と東濃ヒノキの産地として、昭和30年代18,000人であった人口は、現在7,300人まで減少しています。こうした著しい人口減少の中、高齢化も進み、農業はもとより町内の中小企業でも深刻な人手不足に悩まされています。そんな中、G-netにお力添えをいただき、町内企業に対する「人が集まる会社づくり」の研修、学生さんとのオンライン企業探検隊、中高生の職場体験など、コロナ禍で人寄せが難しい中ではありましたが、様々な事業を展開され、一定の成果をあげていただきました。人事の専門部署を置くほどの企業がない本町にとって、町全体の人事部としての役割を担うこうした取組みは、将来的にも有益なものと思います。全国展開をめざし、更なるG-netのご活躍をお祈りします。

早川 寛明 氏 早川工業株式会社 代表取締役社長



G-netさんには以前よりお世話になっておりますが、特に2020年以降は多様な人材活用についてサポートいただいています。当時コロナ禍において新しい働き方が注目される中、町工場ではどのように対応すべきか悩んでいました。その際に外部人材の活用に関する提案をいただき、以降積極的に取り組んできました。外部人材とのプロジェクトを通じて直接的な成果を得るだけでなく、プロジェクトで学んだことを社内にフィードバックすることで会社の柔軟性が増し、今では多様なスタッフが多様な働き方を実現できるようになりました。夢や目標を共有する仲間として、地域を盛り上げていく仲間として、挑戦し続ける仲間として、これからも共に切磋琢磨し合える関係を築いていけるよう、弊社も努力し続けたいと思っています。

2022 年度会計報告 (2022 年 6 月 1 日～2023 年 5 月 31 日)

総括

2022年度は収益が13,061万円(前年度比約135.4%)、支出は11,943万円(前年度比約136.1%)、正味財産増減額は1,117万円でした。自主財源収益は、大手企業と連携した越境研修プログラム等により前年度比142%となりました。引き続き、行政の、兼業副業と、新たに、地域の人事部に関する取り組みへの後押しにより、行政受託収益は前年度比119.7%、補助・助成収益は前年度比164.8%となりました。事業別では、引き続き、コロナ禍で経済的被害を受けた若者の就労支援のための助成金等により、インターン・若者支援事業は、約1,200万円の増収、また、行政による副業兼業、大手企業による越境研修プログラムの事業推進の後押しにより、プロボノ・兼業支援事業は約1,800万円の増収、地域の人事部の取り組みにより、就職・採用支援事業は約460万円の増収となりました。今期の利益は、翌期以降の、より積極的な事業推進のため、事業投資と体制強化に充ててまいります。

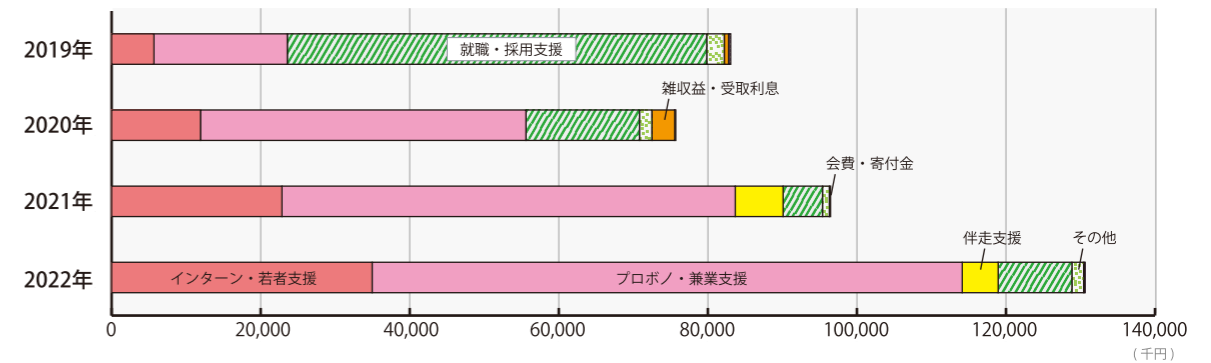
収支推移

	(前年比)	2022 年	2021 年	2020 年	2019 年
収益	135.4%	130,616,942	96,466,083	75,696,828	83,065,894
支出	136.1%	119,439,678	87,773,016	70,239,212	84,376,498
正味財産増減額	-	11,177,264	8,693,067	5,457,616	-1,310,604

収益種類

	(前年比)	2022 年	(全体に占める割合)	2021 年	2020 年	2019 年
自主財源	142.0%	41,268,964	31.6%	29,064,076	25,481,099	40,920,224
行政受託	119.7%	57,669,123	44.2%	48,182,887	37,110,644	31,016,749
補助・助成	164.8%	31,677,829	24.3%	19,218,445	12,753,030	10,558,519
その他	152.0%	1,026	0.001%	675	352,055	570,402

全体・事業別収益の推移



	2022 年	2021 年	2020 年	2019 年
■ インターン・若者支援	34,958,226	22,858,263	11,919,820	5,685,969
■ プロボノ・兼業支援	79,173,135	60,817,588	43,671,976	17,881,091
■ 就職・採用支援	9,896,283	5,288,859	15,231,820	56,278,233
■ 伴走支援	4,818,649	6,417,437	0	0
■ その他	1,605,623	933,587	1,691,561	2,366,955
■ 雑収益・受取利息	1,026	849	3,040,051	570,402
■ 会費・寄付金	164,000	149,500	141,600	283,244

2022 年度 活動計算書

科目	金額 (円)
I 経常収益	
1. 受取会費	149,000
2. 受取寄付金	571,054
3. 受取助成金等	31,843,293
4. 事業収益	98,052,778
5. その他収益	817
経常収益計	130,616,942
II 経常費用	
1. 事業費	119,352,853
2. 管理費	86,825
経常費用計	119,439,678
当期正味財産増減額	11,177,264

2022 年度 貸借対照表

科目	金額 (円)
I 資産の部	
1. 流動資産	94,145,568
2. 固定資産	281,361
資産合計	94,426,929
II 負債の部	
1. 流動負債	8,656,915
2. 固定負債	35,000,000
負債合計	43,656,915
III 正味財産の部	
正味財産合計	50,770,014
負債及び正味財産合計	94,426,929